

この部屋は伊達家の高位の家臣達のために設けられた。障壁画は、白鷺、雉、鶉を追い、捕獲する鷹を描いている。鷹は武士の間で人気があり、伊達武士の勇猛さの象徴とされている。ヒノキやスギと共に景色を彩る柏は、子孫不断の象徴である。これらは九郎太（生没不明）という佐久間左京（1581-1658）の弟子が描いた障壁画の復元模写である。オリジナルは青龍殿に移されている。